

平成28年11月30日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

総務文教常任委員会委員長 寺林 俊幸

総務文教常任委員会報告書

平成28年11月4日、本委員会に付託された事件を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第94条第1項の規定により報告します。

記

1 委員会開催日

11月4日、17日（2日間）

2 審査事件

陳情第6号 忠類振興公社経営に関する陳情書

3 陳情の趣旨

忠類ナウマン温泉ホテルアルコ236・道の駅・振興公社の赤字問題が28年6月1日に新聞で発表され、さらに28年9月25日、札内地区町議会報告会でも、多くの町民から累積赤字が5期連続で過去最大の4,382万円になった経過の質問に集中したのは、町民の血税を支出しておきながら今迄一度も発表されないことが原因であります。

また、28年2月末日に、赤字経営不振から任期途中で中村社長が辞任し、後任に副町長の川瀬俊彦氏が社長に発令されましたが、本業の町政業務が停滞することは明確であります。

したがって、町議会は兼任することに同意したのかお伺いいたします。もし、町議会の同意を得ていないとすれば議会軽視も甚だしいことであり、町議会は行政を管理監督する立場にあることは言うまでもありません。町の財政は借入金が多額であり、今後計画的に返済することが急務であることはご承知のことと存じます。

さて、「この辺で、一度立ち止まって」今後の経済情勢を考えると、国政・道政とも多くの課題が山積し、地方自治体も地方交付税などが減額され、また、消費税のアップなどを考慮すれば、大変厳しい行政運営が思考されます。過去の累積赤字4,382万円を今後どのように精算するのか改めてお伺いいたします。

また、来年度の方針について飯田町長は、3定の一般質問で札幌市

の「アンビックス」と連携して更新する旨を発表されましたが、12月の定例会では議決が必要であり、道内で「アンビックス」と連携し指定管理で温泉経営している新ひだか町（昆布温泉）・平取町（びらとり温泉）・南幌町（南幌温泉）などがあり、赤字を出さずに運営している三町を町議会で視察して、町民の血税を支出しなくてもよい方策は種々考えられますので、十分議論して12月町議会定例会で一番よい案を提示していただきたいと思います。色々な情報を整理すると「アンビックス」は幕別町より1,200万円～1,300万円位の町税があることを前提に来年以降の方針を進めているようでありますので、速やかに結論を出し関係者に通知することを陳情いたします。

4 審査の経過

審査にあたっては、陳情の趣旨について論議がなされ、全会一致で結論をみた。

5 審査の結果

「趣旨採択」とすべきものと決した。